

平成24年度の年間スケジュール予定

キャリアワークショップ・懇談会 ※全て品川キャンパスにて開催

開催日	ワークショップテーマ	懇談会	
4月25日	博士のキャリアデザイン	緑茶と和菓子の会	終了しました
6月26日	博士のハローワーク	英国式紅茶とスコーンの会	終了しました
9月25日	博士の自己ブランディング	ベルギーワッフルとチョコの会	
11月29日	こんな博士なら即採用！（予定）	ハム・チーズ＆ワインの会	
3月1日	博士が見た企業の世界（予定）	アメリカン・ドーナツの会	

スキルアップセミナー

開催日		テーマ	
品川	越中島		
5月22日	6月14日	インターンシップ活用講座 『何を学べる？どう貢献する？』	終了しました
7月12日	7月13日	ビジネス・コミュニケーション入門講座 『ハウレンソウはもう古い!?!』	終了しました
10月19日	—	企業分析入門講座『何を見る？どう選ぶ？』	
1月22日	—	面接対策入門講座『面接官の視点を学ぶ』	
3月21日	—	ビジネスマナー入門講座『大学の常識は企業の非常識か』	

インターンシップ 再公募中

◎対象者：ポストドクター
◎対象人数：2名
◎応募締切：12月21日（金）15：00

※応募は随時受付中です。
※公募要項・応募書類はホームページからダウンロードできます。
※募集人員に達した時点で応募を締切る場合がございます。ご了承ください。
※ご不明な点や、不安なことがありましたら、お気軽に下記の観測・調査等キャリア開発室までお問い合わせください。
※現在、博士後期課程の3名がインターンシップに参加しています。活動・活躍の様子や事前インタビューをホームページにて紹介しておりますので、ぜひご覧ください。

第3回 R-MaSTスキルアップセミナー

企業分析入門講座
『何を見る？どう学ぶ？』

10月19日（金）
16：20～17：50
品川キャンパス
白鷹館1階 会議室

講師：小松 俊明
観測・調査等キャリア開発室 / 特任教授

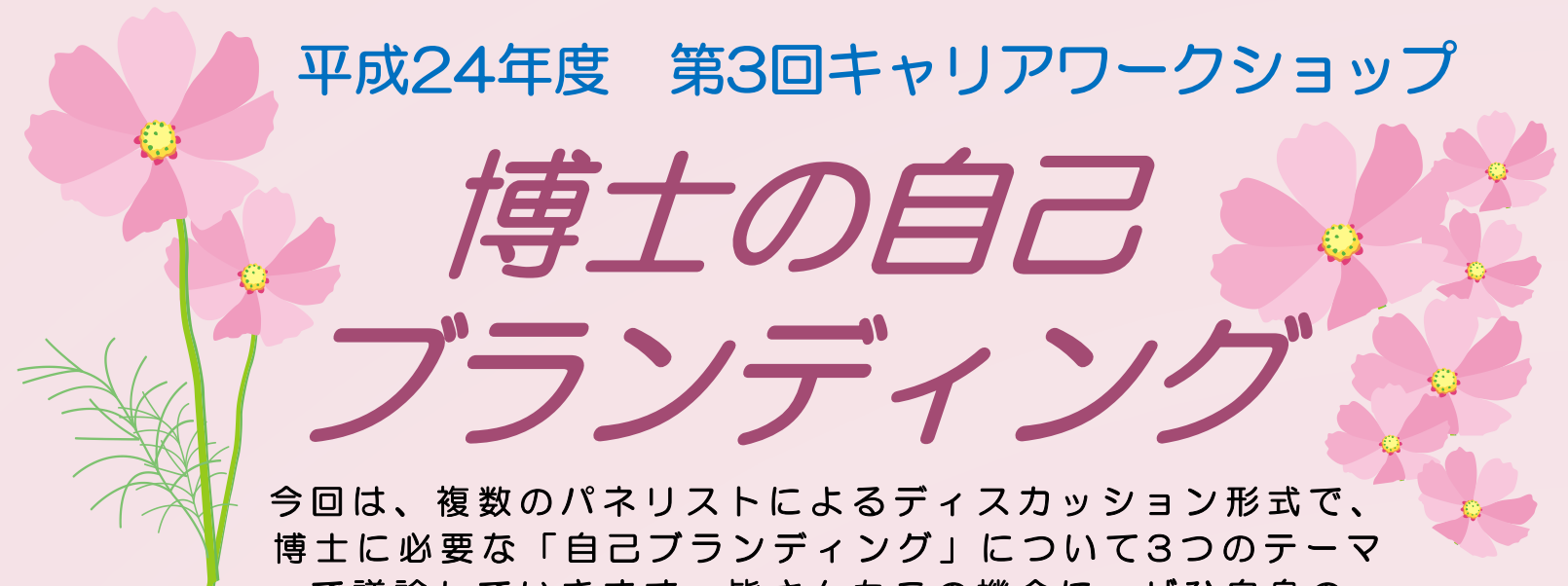
会社選びのための企業分析についてお話しします。
あなたが輝く活躍の場を見つけましょう！
博士後期課程の学生さんは、単位認定の対象となるセミナーです。参加をお待ちしています。

R-MaST

国立大学法人東京海洋大学
観測・調査等キャリア開発室

〒108-8477 東京都港区港南 4-5-7
03-5463-0575 (TEL)
career@m.kaiyodai.ac.jp
http://www.kaiyodaicareer.com

平成24年度 第3回キャリアワークショップ

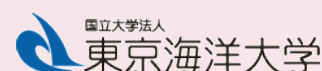


今回は、複数のパネリストによるディスカッション形式で、博士に必要な「自己ブランディング」について3つのテーマで議論していきます。皆さんもこの機会に、ぜひ自身の「自己ブランディング」を一緒に考えてみてください。

＜本日のタイムテーブル＞

- 15：30 開会挨拶 松山優治（観測・調査等キャリア開発室 特任教授）
- 15：35 講演 五十嵐悠紀氏（筑波大学 システム情報工学研究科 博士研究員）
- 15：45 パネルディスカッション
➤テーマ
博士に必要な“自己ブランディング”はコレだ！
➤モデレーター
伊藤健吾氏（エンジニアtype 編集長）
➤小テーマと質問者：
テーマ1「自己分析」
池田玲子氏（本学 女性研究者支援機構長／海洋科学技術研究科 教授）
テーマ2「自己研鑽」
久保村喜代子氏（久保村食文化研究所 代表）
テーマ3「自己PR」
中村宏氏（本学 産学・地域連携推進機構 教授）
フリーディスカッション＆質疑応答
- 17：15 事業報告 小松俊明（観測・調査等キャリア開発室 特任教授）
- 17：20 閉会挨拶 神田穰太（観測・調査等キャリア開発室 副室長）

ワークショップ終了後、ベルギーワッフルとチョコレートを楽しむ懇親会の場をご用意しております。
※参加される方は受付までお知らせください（学生・PD無料，一般500円）



◎主催：文部科学省科学技術人材育成費補助金
「ポストドクター・インターンシップ推進事業」
◎共催：男女共同参画推進室
女性研究者支援機構 オフィス海なみ

◎メディアスポンサー



R-MaST は「The Development Program of Career-path for the experts related to Marine Science and Technology」の略称です

ご挨拶

本日は、ワークショップ「博士の自己ブランディング」にご参加くださり、ありがとうございます。

本ワークショップは、平成23年11月にスタートしたポストドクター・インターンシップ推進事業

（文部科学省科学技術人材育成費補助金）である『海洋関連人材キャリアパス開発プログラム』の

一環として開催しています。平成24年度 第3回目となる今回は、4名のパネリストによる

ディスカッション形式で、自己ブランディングについて、3つのテーマ（①自己分析、②自己研鑽、

③自己PR）で議論して頂きます。『海洋関連人材キャリアパス開発プログラム』は、

海洋関連産業界をはじめ、多様な産業分野の発展に繋がる博士人材の育成を目指します。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

観測・調査等キャリア開発室
室長 竹内 俊郎



パネリスト & モデレーターのご紹介

パネリスト

五十嵐 悠紀氏（筑波大学 システム情報工学研究科 博士研究員）

2005年 お茶の水女子大学理学部情報科学科卒業

2007年 東京大学大学院情報理工学系研究科修士課程修了

2010年 東京大学大学院工学系研究科博士課程修了、博士(工学)

2010年4月より現職（日本学術振興会特別研究員PD（筑波大学））

ACM Student Research Competition Grand Finalist, IPA未踏ソフト創造事業 スーパークリエイタ認定, 先端技術大賞文部科学大臣賞など受賞しました。コンピュータグラフィックス、ユーザインタフェースに関する研究に従事。特に初心者向け手芸設計支援に関する研究に取り組んでおり、子ども向けにワークショップを開催するなどアウトリーチ活動にも力を入れています。エンジニアtypeにて連載も行っています。



パネリスト

久保村 喜代子氏（久保村食文化研究所 代表）



大学卒業と同時に青山学院短期大学食品学研究室助手に。その後オフィスオープン、来月開設20年目。専門は【Savory Flavour】特に反応系香料。日本の加工食品業界において、沢山の作品を造りました。インスタントラーメンやスナック菓子・加工食品などの特殊な製造用ライン向けの配合表も開発。食品メーカーと新製品開発プロジェクトを組み、手がけた製品は950アイテム以上にのぼります。

また、海外の食品添加物・素材会社の日本へのGatewayとして、テクニカルフォローも行う一方で、長くエディターとして日本・海外にて執筆活動を継続、

国内外問わず、書籍の出版も行っています。

この他、WHO 環太平洋地域の教育プログラム講師（東海大学医学部非常勤講師）、厚生省特保食品規制関連の翻訳者、IUFOSTスピーカー、IFT教育プログラム講師、World Food ScienceのEditorial Board Member, IFT本部評議員等、食品に関する国際会議等でも活動しています。

2008年、IFTフェロー受賞。

【食品関連資格】業界団体に所属（日本料理、全日本司厨士協会、中華料理等）調理師、栄養士、製菓衛生士、等、食品産業関連の資格を多数取得。学術博士

パネリスト

池田 玲子氏（本学 女性研究者支援機構長／海洋科学技術研究科 教授）



学校（小・中・高校）教育経験を経てから日本語教育の大学院に社会人入学し、博士の学位を取得しました。その後は、日本語教育学という専門性を生かす方向で、大学や研究所で非常勤講師として勤務しながら教育実践と研究を重ねてきました。そして、3年後に希望が叶って東京海洋大学で専任教員として採用されました。当時の東京海洋大学の公募内容が私にとって魅力的だったのは、自分のこれまでの専門性が生かせるというだけでなく、この専門をもとにさらなる自己成長の課題が見えたからだと思います。

今の私は、まだまだ課題遂行途中です。今後の私にはさらなる自己変容があるはずですが、それが果たして自分自身にとって「成長・拡大」と言えるかどうかは私自身にもわかりません。実はこのことは不安でもあり、楽しみでもあります。

パネリスト

中村 宏氏（本学 産学・地域連携推進機構 教授）



平成13年3月、旧東京水産大学に開設された地域共同研究センター（リエゾンセンター）に赴任。着任前までは途中入社した三菱重工（株）で、主席研究員でした。元々の専門は海洋生物学で、軟体動物の系統分類学で学位を得たのですが、30歳半ばに畑違いのメーカに就職、12年間を過ごしました。文字通り、深海（探査潜水艦「しんかい6500」）から宇宙（スペースシャトル実験等）まで、浅くですが、極めて広く、生物、海洋、環境に関する数々のプロジェクトを立案し、研究開発と実用化に携わりました。

その経験を生かし、本学で、大学が担う「教育」「研究」につぐ第三の柱、「社会貢献」の具体的な成果を表す活動を行なっています。オリジナルな情報を発信できる新しい発想は、自らと異なる人々との接触によってもたらされると信じます。多様な人々との出会いからオリジナルな発想を得て、かけがえのない研究や教育に結びつけ、これを発信し続けます。

モデレーター

伊藤 健吾氏（エンジニアtype 編集長）

2001年に成城大学文芸学部を卒業後、同年7月に人材サービス業を展開する㈱キャリアデザインセンターへアルバイト入社。

同社が発刊するビジネス&転職情報誌『type』編集部や、働く女性向け雑誌『ウーマンtype』で編集経験を積みました。2006年に技術者向け雑誌『エンジニアtype』編集部へ異動し、2007年に同誌の副編集長、2009年には編集長に就任。その後、就職学生向けムック本『就活type』の創刊などにかかわった後、2011年にWebマガジンとして再スタートした『エンジニアtype』を立ち上げ、編集長に就任しました。経営者、ビジネスパーソン、技術関連職、採用担当者など幅広い職業の人に取材を行ってきました。『エンジニアtype』の媒体ポリシーは、技術開発に携わる方々の「はたらく」を応援するというもの。個人的にも、イノベーションの萌芽は常に若い世代が作ると信じています。これからの産業を担う皆さんのお役に立てるよう、ワークショップのお手伝いをさせていただきます。

